

### GISで環境学習（後援）

趣旨：環境問題が大きな社会問題となっている現代において、学校での環境学習は、総合学習が設けられたこともあり大きな課題となっている。その学習形態は単に学校の中にとどまらず、公共団体、地域のコミュニティ、ボランティア、市民が連携して学習する活動が試みられており、特にその連携的環境学習を支える有効な道具として、地理情報システム（GIS）が注目を浴びている。このシンポジウムでは、GISで環境学習を試みている事例を紹介し、学校と様々な人々や団体が連携してGISで環境学習をするという新たな方法を議論する。

日時・場所：2002年7月13日（土）13：00～18：30 東京大学農学部 弥生講堂

主催：日本学術会議地球環境研究 HDP 委員会 HDP-GIS 小委員会、東京大学空間情報科学研究センター  
第1部 発表（13：30～16：10）

- 「環境学習における地理情報システム（GIS）の役割」 伊藤 悟（金沢大学教育学部）  
「博物館における参加型環境調査とGIS」 大西行雄（（株）環境総合研究所）  
「GISを用いた里山『ふれあい活動』支援システム 里山フィールドミュージアムシステム」  
野澤竜二郎（玉野総合コンサルタント（株））  
「仙台市生きもの調査と生きもの環境調査の全国展開」 岩淵成紀（宮城県立田尻高校）  
「仙台市カエルマップの提供と市販GIS利用の問題点」 鶴川義弘（宮城教育大）  
「インターネットGISを用いて小中学生が作成した星空環境マップとその活用」  
長島康雄（仙台市天文台）

第2部 ディスカッション（16：30～18：00）

座長：伊藤達雄（名古屋産業大学）

コメンテータ（HDP-GIS委員）：碓井照子・高阪宏行・鈴木康弘・田中和博・玉川英則・筒井信之・原沢英雄

### 地学クラブのお知らせ

下記により地学クラブを開催いたします。多数ご参加くださるよう、お待ちいたしております。  
なお、講演終了後、1時間ほど講演者を囲み懇談の時間を設けますので、ご自由にご参加ください。

・7月19日（金）14：00～15：30

「高レベル放射性廃棄物地層処分場選定の考え方」

東電設計（株）最高顧問；土木学会原子力土木委員会・地下環境部会地質WG 吉田鎮男

・8月 休み

・9月20日（金）14：00～15：30

「未踏の海底下深部を目指して 最新鋭掘削船「ちきゅう」の挑戦」

東京大学海洋研究所；海洋科学技術センター OD21 推進本部長 平 朝彦